

ヤンマーミュージアム農園で稲刈り体験 2017 レポート♪



2017年9月9日（土）10日（日）爽やかな秋晴れの空のもと、ヤンマーミュージアム農園で毎年恒例の稲刈り体験を行いました。2日間で28組98名のお客様にご参加いただきました。当日の楽しい様子をご紹介します♪



まず初めに、ヤンマーミュージアム館長から開会の挨拶を行い、その後、田んぼの管理をお願いしている高橋町営農組合組合長の藤居政寛さんより、お米作りについての講義をしていただきました。田植えから収穫までのような作業をするだけでなく、お米の成分についてのお話もあり、タンパク質やアミロースの含有量によっておいしさに違いがあることなどを楽しくお話ししてくれました。



田んぼに移動し稲の刈り方の説明を受け、鎌を持ってみんなで一斉に手刈りをしました。何度もご参加いただいているリピーターさんは手際がよく、どんどん刈り取りをしてくれました。中には、お父さんに「鎌はこうやって使うとキレイに刈り取れるんだよ！」と指導をする頼もしい小学生もいましたよ！みんなが手刈りに疲れてきたころには、コンバインも登場し、圧倒的なスピードで残った稲を刈り取っていきました。機械のパワーに参加者の大人も子供もみんな驚いていましたよ。



昔の機械「足踏み脱穀機」「唐箕」も体験してもらいました。昔は「鎌」で刈り取り⇒「足踏み脱穀機」で脱穀⇒「唐箕」で選別していた作業を、今は「コンバイン」ひとつでできるということを知った参加者は、とても感心していました。農園イベントをお手伝いしてくれているヤンマーOBからは、昔は稲刈りの時期はみんな学校を休んで家の手伝いをしていたと聞き、昔の農作業がいかに人手が必要で大変なものだったのかを知ることができました。



稲刈りの後には、お楽しみのお昼ご飯。恒例のヤンマーミュージアム特製カレーです！土鍋で炊いたご飯はとてもおいしく、カレーと一緒に食べる前に、まずは白いお米だけを食べて、お米の味を味わってもらいました。普段はあまりたくさんご飯を食べないというお子さんも、おかわりをしてくれていましたよ！最後にはお楽しみ企画「ダーツ大会」も行い、家族みんなで楽しんでいただきました。今回刈り取ったお米は、乾燥と粳摺りの過程を経て9月下旬には新米として食べられるようになります。

■ お客様の声（アンケートから抜粋）

- ・いつも楽しく参加させていただいています。子供たちも少しずつ大きくなってきて、体験の意味もわかるようになってきました。
- ・参加できて本当にうれしかったです。1歳の下の子もカレー完食でした！おいしくて楽しい体験はいい思い出になったようです。
- ・ここでの体験を通じて息子の夢が米農家になりました。毎回楽しく参加させていただいています。
- ・子供が、農作物がどうやってできているか興味を持って知っていく良い機会とさせていただいています。遠いですがまた参加したいです。
- ・稲刈りの一連の流れを生で体験できる貴重な機会となりました。
- ・今日も楽しく気持ちのよい農業体験ができました。自然を直に体感することは秋晴れの中、週末のよいリフレッシュにもなりました。
- ・まるで年間行事のように、毎年楽しみにしています。

■ おまけ：田んぼには生き物がいっぱい！

